二月（平）如月（きさらぎ）角宿

（二月四日立春の節より
月命丙寅二黒土星の月
暗剣殺西南方）

旧十二月大
正月大

○望＝望月のことで、満月を指す

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	金	つちのと み	三碧	福井永平寺涅槃会摂心（7日迄）、己巳 旧十二月大	廿七	友引	さだん	婁	母倉	6.42 17.08	3.50 13.59	4.09 14.17	8.47 21.30
2日	土	かのえ うま	四緑	**初午**、京都伏見稲荷初午祭、笠間稲荷初午祭、大つち、三隣亡	廿八	先負	とる	胃	母倉	6.41 17.09	4.43 14.48	4.40 15.11	9.41 22.09
3日	日	かのとひつじ	五黄	**節分**、豆まき、奈良春日大社万灯籠	廿九	佛滅	やぶる	昴	大みゃう	6.40 17.10	5.31 15.39	5.08 15.51	10.23 22.46
4日	月	みづのえさる	六白	**立春**一二時一四分、尾鷲まつり（1日～5日）、不成就日	卅	大安	やぶる	畢	大みゃう	6.39 17.11	6.14 16.33	5.34 16.26	10.59 23.19
5日	火	みづのとり	七赤	●**朔**六時〇四分、**旧元日**、島根出雲大社福神祭 旧己亥正月大	朔	先勝	あやぶ	觜	万よし	6.38 17.12	6.53 17.28	5.59 16.58	11.31 23.50
6日	水	きのえ いぬ	八白	新宮神倉神社火祭	二	友引	なる	参	●	6.37 17.13	7.28 18.23	— 12.02	
7日	木	きのと み	九紫	北方領土の日、三隣亡、不成就日	三	先負	おさん	井	母倉	6.37 17.14	8.01 19.18	0.19 12.32	0.46 13.02
8日	金	ひのえ ね	一白	こと始め、針供養	四	佛滅	ひらく	鬼	母倉	6.36 17.15	8.31 20.13	0.46 13.02	1.12 13.33
9日	土	ひのと うし	二黒	一粒万倍日	五	大安	とづ	柳	神よし	6.35 17.16	9.00 21.09	1.12 13.33	1.38 14.07
10日	日	つちのえとら	三碧	加賀菅生石部祭、福島信夫三山暁参り、天しゃ、小つち	六	赤口	たつ	星	よろづよし	6.34 17.17	9.29 22.06	1.38 14.07	2.05 14.48
11日	月	つちのと う	四緑	▣**建国記念の日**、旧七草、奈良櫃原神宮例祭、水沢黒石寺蘇民祭	七	先勝	のぞく	張	神よし	6.33 17.18	9.59 23.03	2.05 14.48	2.34 15.44
12日	火	かのえ たつ	五黄	松山椿祭（11～13日）	八	友引	みつ	翼	天おん	6.32 17.19	10.31 —	2.34 15.44	3.11 17.10
13日	水	かのと み	六白	◐**上弦**七時二六分	九	先負	たいら	軫	天おん	6.31 17.20	11.07 0.03	3.11 17.10	3.25 17.25
14日	木	みづのえうま	七赤	二の午、聖バレンタインデー、奈良長谷寺だだ押し、一粒万倍日	十	佛滅	さだん	角	神よし	6.30 17.21	11.48 1.05	3.25 17.25	5.01 19.08

暦日上、二月初頭には「立春」という春めいた節日が設けられているが、気候的、気温的には、雪または冷雨の日が多く、まだまだ寒波、寒風の荒れ狂うときである。

【冠】とくにこの項に入れることでもないが、「立春」は陰暦の正月で、太陰太陽暦を使用する東洋の占い上の新年の起点とされている。したがって表紙裏の年齢早見表にも説明があるように、立春前日の節分までは、前年の生まれ年になる。

この月は一ヵ月最少日の特異月で、しかもほぼ四年に一回閏日がある。

【婚】婚礼に直接関係ないが、十四日は「聖バレンタインデー」といい、欧米ではこの日、女性から男性にプロポーズをしてもいいという風習がある。

もともとバレンチヌス司教の殉教の日であるが、これにギリシャ神話の女神のロマンスが重なったものらしい。最近ではわが国でもプレゼントするならわしをまねて、女性から男性にわたすチョコレートなどが盛んに売られるようになった。

【祭】「節分」は、本来は四季の移り変わるときのことをいうのであるが、とくに暦上の一年の最初の日の立春の前日で、地方によっては旧暦の大晦日（おおみそか）として、それぞれ伝統ある行事が行われている。

一般的には「福は内、鬼は外」と福豆（大豆の炒ったもの）をまき、この豆を年齢の数（地方によっては一粒多く）だけ食べる厄よけがある。柊（ひいらぎ）の枝にイワシの頭をさしたり、ニンニクなど強い臭気のあるものを添え「邪気」よけを行う風習もある。福豆をまき悪鬼を払うので追儺（おにやらい）といい古くから神社仏閣で、この儀式は年男により行われている。

十一日は「建国記念の日」として、国民の祝日になっている。

太平洋戦争終戦前は、紀元節といって四大節の一つであったが、終戦後は読んで字のように、日本国建国の記念日に定められた。

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	金	みづのとひつじ	八白	全国緑化キャンペーン、ねはん会、横手かまくら、不成就日	十一	大安	とる	亢	天おん	6.29 17.22	12.35 2.09	2.14 11.58	6.49 19.57
16日	土	きのえ さる	九紫	全国狩猟禁止、日蓮聖人誕生会、岡山西大寺会陽裸祭、十方ぐれ入り	十二	赤口	やぶる	氐	大みゃう	6.28 17.23	13.31 3.12	3.31 13.44	8.29 20.56
17日	日	きのと とり	一白	伊勢神宮祈年祭（23日迄）、八戸えんぶり（20日迄）	十三	先勝	あやぶ	房	十し	6.26 17.24	14.35 4.14	4.13 14.56	9.32 21.49
18日	月	ひのえ いぬ	二黒	アレルギー週間（17日～23日）	十四	友引	なる	心	●	6.25 17.25	15.44 5.11	4.49 15.49	10.21 22.37
19日	火	ひのと み	三碧	**雨水**八時〇四分、旧小正月、三隣亡	十五	先負	おさん	尾	大みゃう	6.24 17.26	16.57 6.03	5.23 16.35	11.03 23.22
20日	水	つちのえ ね	四緑	○**望**○時五四分、水戸梅まつり（3月31日迄）	十六	佛滅	ひらく	箕	母倉	6.23 17.27	18.11 6.48	5.55 17.19	11.42 —
21日	木	つちのとうし	五黄	一粒万倍日	十七	大安	とづ	斗	きこ	6.22 17.28	19.22 7.29	6.25 18.01	0.03 12.19
22日	金	かのえ とら	六白		十八	赤口	たつ	牛	ぶく日	6.21 17.29	20.32 8.07	6.53 18.44	0.41 12.56
23日	土	かのと う	七赤	皇太子誕生日、京都醍醐寺五大力尊仁王会、福井勝山左義長祭、不成就日	十九	先勝	のぞく	女	くる日	6.19 17.30	21.39 8.43	1.16 13.32	1.16 13.32
24日	日	みづのえたつ	八白	大田原大田山地蔵尊春大祭、旧二十日正月	廿	友引	みつ	虚	大みゃう	6.18 17.31	22.45 9.18	1.48 14.11	2.18 14.54
25日	月	みづのと み	九紫	京都北野天満宮梅花祭、天一天上	廿一	先負	たいら	危	ぢう日	6.17 17.32	23.47 9.54	2.18 14.54	2.48 15.52
26日	火	きのえ うま	一白	◑**下弦**二〇時二八分、三の午、良忍上人忌、一粒万倍日	廿二	佛滅	さだん	室	神よし	6.16 17.33	— 10.32	8.11 21.13	8.39 22.37
27日	水	きのとひつじ	二黒		廿三	大安	とる	壁	大みゃう	6.14 17.34	0.48 11.12	7.46 20.16	9.13 —
28日	木	ひのえ さる	三碧		廿四	赤口	やぶる	奎	月とく	6.13 17.35	1.45 11.56	2.01 10.03	5.01 19.08

※「海上保安庁図誌利用第三〇〇三〇二号」
※東京・晴海の満潮・干潮の時刻は海上保安庁刊行の「平成三十一年潮汐表」から採用したもので、異常な気象の影響は考慮していません。
※行事・休日・祭りは変更になる場合があります。事前に関係諸団体にご確認ください。

◑下弦＝下弦の月を指す